

公安委員会定例会議開催状況

1 開催日時 令和5年12月20日（水）午前9時47分から午前11時46分まで

2 開催場所 公安委員会室

3 出席者

(1) 公安委員会

五十嵐委員長 竹内委員 久保田委員

(2) 警察本部

本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長
情報通信部長 首席監察官 サイバーセンター長 警察学校長
監察官 交通部管理官 運転管理課聴聞官 公安委員会室長

4 議事の概要

(1) 報告事項

ア 令和6年群馬県警察月間等について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「3月に銃砲の全国一斉検査があるとのことだが、最近熊による被害が目立つため、猟銃等による駆除の必要性を感じている。銃砲の所持には規制があるため、許可業務も大変だと思うが、猟友会員の継続的な駆除活動等により熊被害が拡大しないよう願っている。」と意見があった。

イ 110番通報受理状況について（令和5年11月末）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「受理件数も増えており大変だと思うが、しっかり対応していただきたい。」と意見があった。

ウ 刑法犯の認知・検挙状況について（令和5年11月末）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「特殊詐欺の検挙率が高いことは凄い。これは警察の努力の成果だと思う。」「特殊詐欺の認知件数減少の理由には、犯人グループの中で『群馬ではやりづらい』という認識があるからかもしれない、これは本当に素晴らしいことだと思う。」「特殊詐欺の抑止については、マスコミでも『予兆電話があったら警察へ通報』などと取り上げているため、その効果があるのかもしれない。検挙もさることながら、認知件数を減少させていることもありがたいと思う。」と意見があった。

エ 「第68回全日本実業団対抗駅伝競走大会」に伴う交通対策について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「今回は出場チームが増えることで諸対策が大変になると思うが、しっかり対応をお願いしたい。」と意見があった。

オ 交通死亡事故抑止緊急特別対策の実施について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「反射材が付いた警察官の人型看板は、夜間における車両運転者への注意喚起に効果があると思っている。」「反射材の利用については、交通安全協会等も広報しているが、様々な角度から引き続き広報をお願いしたい。今の時期は夕暮れが早い、早めのライト点灯がされていない車両も見受けられるので、普及に向けた広報もお願いしたい。反射材とライトが同時利用されることで、暗い中でも人の存在に気づきやすくなり事故防止に繋がると思う。」「夜間に道路横断中の高齢歩行者が被害に遭う事故も複数あるようだが、このような事故も、歩行者が反射材を付けていれば、もしかしたら防げたかもしれない。反射材の普及は今後も検討の余地があると思う。」と意見があった。

カ 非違事案による職員の処分予定について

警察本部から、上記の件について報告があった。

(2) 決裁事項

ア 警察職員の職務執行に対する苦情の受理について（2件）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

イ 警察職員の職務執行に対する苦情の処理について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

ウ 群馬県自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律関係手数料条例の一部改正について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

エ 行政処分の意見聴取結果について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案11件の意見聴取結果及び5件の聴聞結果について説明があり、決裁した。